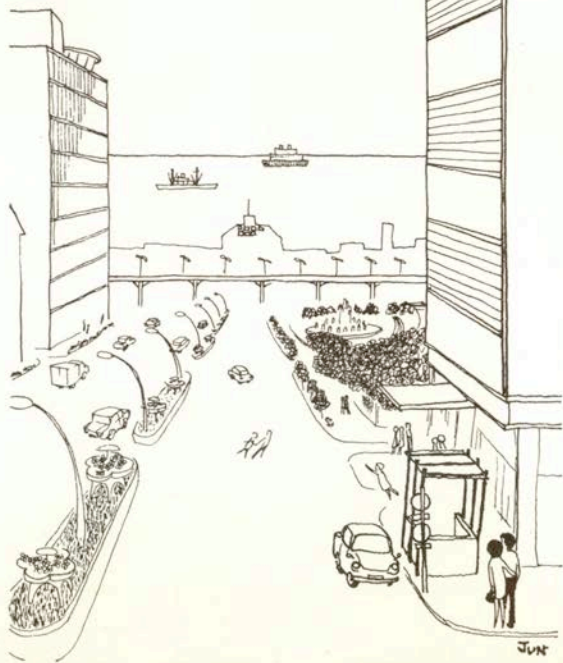


●The talk in KOBE

街のおしゃべり

新聞会館前
さんちかタウン
センター街
元町通り
トア・ロード
柳筋
中山手通り
北野町



★天使、六甲の最高峰に降りる

神戸に天使が降りてきた。六甲の最高峰に降りてきた。今は夜。無数の色とりどりの星が、やはり同数の空の星に続いている。ネオンが目のしずくであれば、ハイウェイの灯の帯は、天使を縛る縄かも知れない。夜が明けるまで待とうではないか。白々と明ける空は西から東へと伸びる神戸の無限の海を染める。第四工区、第三工区摩耶阜頭、くつきりと海に浮かぶ人工島だ。夜がすっかり明けるまで待とうではないか。それから神戸の街に入っても、決して遅くは

ない。それよりも、眠たげな星のあくびから、ほんやりとでも墨絵の世界が見え、犬の遠吠とともに牛乳配達自転車の音、あのこちよい新聞のキュツという音。始発の市電の軽きたわごとが聞こえるようになるまで、そこにいるのがよいのだ。ただ、あなたが得意のヒラヒラでもって、最高峰から神戸の街中へ舞い降りる気になれば何もポトタワーを目印にすることはない。一瞬、羽を休めるがよい。天使の耳は、聞こえるためにある。街の息吹き、ためいき。そうだ、あなたは『街のおしゃべり』に会えるのだ。人の世の複雑

怪奇な事は、あの『街のおしゃべり』のせいなのだ。だから、ポトタワーを目印にすることはない。『街のおしゃべり』を見つけたこと。これが、天使にとって一番必要なことなのだ。地上に降りてきた以上は。

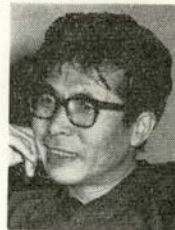
★天使、街のおしゃべりに会う

街のおしゃべりは多口類。そして八つの口がある。第一の口から順次紹介しよう。

最初に、神戸新聞論説委員の竹田洋太郎さん。『アングラの洋ちゃん』と自負するだけあって万年青年。新しいものが好き。



竹田洋太郎さん



高橋 孟さん



長田正夫さん



鳥越 哲さん

次は、高橋孟さん。神戸新聞の専門調査室というと何だか固いが実は、時事漫画・笑点の作者。友人に連れられての梯子酒で、そのため同じ店に何度行っても、その都度初めての店の感じがする。

長田正夫さん。センター街大和屋シャツの若主人。センター街の市街地改造で、横丁の飲み屋が姿を消すのが残念、とのこと。

鳥越哲さん。元町本通りの神戸眼鏡院の営業部長。元町の発展のために、プランを立てようという気運が若い人に興っている。

三浦明定さん。中山手・ピノックオのマスター。中山手・北野町は、東京の六本木ムードになりつつありますネ、と語る。

福岡康年さん。三菱自動車販売のセールスマン。銀行の駐車場をうまく利用すると便利ですよ、と駐車難の折、名案。

植松奎二さん。元町の通りの真中に彫刻など置くと楽しいのだけれど、と希望をのべる。神戸大学教育学部。

最後に、ただ一人の女性の太田和子さん。デザインの仕事の関係

上、服飾関係の店はなかなかの通デートには、ニューポートホテルのロビーなどいいワ、と自分のことのようにおしゃべり。
街のおしゃべりは、始まると止まらない。では、始めよう。

★人も車もデートする新聞会館前

阪急会館のエスカレーター前とくれば、誰でも一度はデートに使った場所だろうが、最近、それにせまる人気のあるのが、新聞会館前。大劇場、スカイシネマ共に、



デートは新聞会館から始まりフラワーロードに終る

若い人向けの映画を最近上映していることも原因の一つ。デートして時間ぎりぎりにタクシーで到着したら、目的の女の子のほかに、母親や弟もついて来ているぐらいの健全ムード。ただ、車もデートする駐車場があるだけに、恋人同士が、行きかう車越しに手を振りあっているのを見るのが、新聞会館の住人の楽しみ、とは結構な退屈しのぎ。駐車場は、夜十時以降ならロハである、とは常習者の弁ただし、その頃は昼の世代とは大分ムードが異なってくる。

新聞会館前から、昼ならさんちかタウンへ。夜はフラワーロードと。夜は夜でおかしな人種の出没する所だから、出来るだけ市庁舎側を歩くとよい。東遊園地は、少し暗すぎるので避ける。先日の神戸大学の野外美術展は、昼夜盛況であったそうだ。噴水広場は、恋人たちのオアシスだ。

港へ行けばいいのにネ、という人もいるが、なかなか港までは暗すぎる。夜中の二時、三時になるとフラワーロードから磯上グラウンドの方に人が流れます。詳しく観

察すれば、夜明けの五時頃でもまだだましますよ、と見てきた人は語ってくれる。

—フラワーロードに夜店がほしいですね。

—フランス映画によくでてくる。

—前に植木市がありましたね。ああいうものを恒久的にするといいいのに。

—でも、今は鈴鹿の直線コース。

—テキサスターバンに、キングズアームズと洋食は一流だね。

—そう。ニューポートのバーでデートをすれば最高よ。

★綿菓子も売っているさんちか

ポートアイランドが人工島ならさんちかは、人工照明街だ。通の人ならサンティカと呼ぶ。

—さんちかの商品は、ガラス張りの中だから高い感じがするネ。

—でも、眺める楽しみがあるワ。

—はやっているのがトイレ。

—三菱のホームコーナーはいいねすぐに名前を覚えてくれて、通っていると呼んでくれる。

—可愛い子ちゃんがいるて。

—アキちゃん、サッチャーね。



太田和子さん



福岡康年さん



植松奎二さん



三浦明定さん



さんちかは、ロマンチシズムのメッカ

らスターを生みだしてほしいネ。

買物が目的でなくさんちかを利用する三つの楽しみ方がある。一つは、センター街へ抜ける所にあるコーナー。自動花占いがあればダイヤル式結婚相談所がある。二十円入れて受話器を取ると、何やらモソモソ。真中の映像を見ると何と素敵、グラマーな女性が笑っている。この女性が未来の失恋相手だそう。

綿菓子二十円。思い出すネ。金魚すくいに興じていたあの娘を。

第二の楽しみ方は、フードタウンとファミリータウンの境、サーピスルーム。有料トイレ(ただし婦人専用)とロッカールーム。

—高校生の女の子がよく利用しています。制服とカバンを預けて。

—とは、某氏の弁だが、聞いてみるとそれほどでもないらしい。

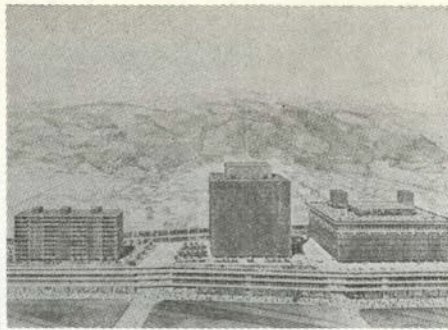
第三の楽しみ方は、ファミリータウン。王様のアイディアをニヤニヤして眺めて、サンストアで気分を一新するのもよい。ここで何を食べようか迷ったら、お好みコーナーに行こう。四軒共食べると腹こわすこと必定。気分直しに、

—とにかく、ミルクティー四十円でその上女の子とは、ぜいたく。三菱のホームコーナー。カラーテレビに見入って時の経つのを忘れるほど。ドリンクの話がでたついで、通路を隔ててスイーツタウンの隅。モロゾフのカウンターがある。コーヒー一〇〇円。ただし何杯飲んでも結構。紅茶の21杯が最高とか。あなたも挑戦してはいかが？

サテライトスタジオ。サテスタでおなじみ。金魚鉢みたいで嫌だと言う人もいるが、知人が出た時見る方は面白い。早くサテスタか



夜店さながらのセンター街仮設店舗



センター街の完成図、右のビルがCブロックである



交通センタービル前の三宮一番街

さんちか広場へ。

前に大学の美術展を開こうと思
って聞くと、一日二万五千元でネ

ーそら、値きらなあかん

と、因縁つき。本日はペット祭り
パタゴニアフィンチ、一万三千元
とは、美術展もなかなかしんどい

★センター街よ、どこに行く

神戸の街が動いているのは、セ
ンター街が動いているからだ。

三宮市街地改造。まずは東から
京町筋まで。これがCブロックで
京町筋から生田筋まで、これがBブ
ロック。残りトア・ロードまでが
Aブロックで、工期を三期に分け
ている。

三宮市街地対策協議会Cの会長
である横井信市さんの話を聞こう
—私は、三宮神社を移転させて市
電を通した張本人なのです。

と、開口一番ソーダ水をガブガブ
飲みながらの弁。

—京町筋という名を付けたのは、
この私なんです。根っからの三宮
っ子ですな。国鉄の高架に沿って
36m道路ができるので、このあた
りが市街地改造地域に入っている
のです。ところが、市の指定する
地域は、その道路から計った規準
があって、そのためにセンター街
の南の方は、このたびの改造事業
の対象にならないのです。Cプロ
ックだけで実に一七〇軒の店舗が

あるのです。いろいろと憎まれ怒
鳴られました。

—地下が飲食店、食料関係で、地
上三階までが、娯楽・物品販売。

四・五階は駐車場。Cブロックの
場合は、六階から十階までレジャ

ーセンターができます。Bではホ
テル、Aでは市営住宅という計画

—店主並びに従業員は、このビル
の中で寝泊りせずに、通いになり
ますな。住宅部門は全然考えてい
ませんから。

三宮には、いろいろな街ができ
つつある。三宮一番街・二番街・

三番街である。いずれもCプロッ
クの仮設店舗である。一七〇軒の

うち三十軒ほどが転廃業。九十軒
ほどが、番街地とセンター街内の

仮設店舗に移っている。それはま
るで夜店のようだ。

—センター街の庶民的イメージを
壊さずにビルをつくることで頭を
悩ましています。

—小路のあの飲み屋の雰囲気ネ。

—ガチャガチャしているのが面白
いのでね。僕は方向音痴だから、

いっどこに行っても新しい世界に
入ったみたいで。

—京町筋のムードいいですね。泰
記の雰囲気は貴重ですよ。

—汲めども汲めどもつきぬ感じ。

—あの魚市場はどうなりますか。

—鯉川筋の北の方に移転すること
になっています。

—入口に障子のはまった桃千鳥など消えるのは淋しいですネ。

—休みには、ヤドカリや銭ガメを売っている。

—あれ銭ガメでなく、普通のカメの子ですワ。どんどん大きくなる年輩層の話には、どこか情緒があるが、懐古趣味に陥いる。しかし、センター街はそういう街なのである。鍋・カマを売る荒物屋、宮大工の店が依然として残っているのだ。しかし、現実のセンター街は、上を向いて歩けないほどの人出なのだ。それもカッコイイ若者の通る路だ。

—スタイルビルやマミーナなど、女性の店が最近多くなったね。

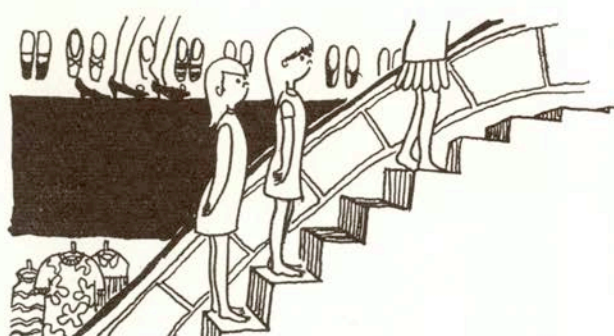
—セプティーン。それにワンワン、ミッチャン。いつも一杯です—マミーナの二階に喫茶室があって、そこにいと可愛い子ちゃんが見られて楽しいですよ。

—ミニスカートを買いにくる子はやはりミニを着ていますネ。とは、観察力の確かなこと。

—マミーナの地下に和風喫茶・徳川が開店。ミッチャンで石鹸を買った女の子が入ってくる。色とりどりの椅子のうち、自分の好みを見つけるのも面白い。琴の音が印象的。

★元町談義—多くなった通行量

この頃、元町を通って驚くこと



女性はエスカレーターに乗ることに生まれ変わる—スタイルビル

勉強していませんネ。トラヤなど東京からワザワザ見にくるほどで、業界では一流です。

—アーケードを見る楽しみもある—神戸眼鏡院は、店頭に鳥を置いていますネ。店にとって全然不必要な所に凝る、といった感じは素晴らしいですよ。

—丹波焼も置いたことがあります—眼鏡そのものに別段楽しみがないものだから、何か他のことで人の目をひこう、と思うからです。

—元町の空間の使い方はいいです—現在、二丁目、三丁目で工事をしています、あれはどうなるのですか。

—裏側に道をつけるための工事です。元町自体としては、ここ二・三年は外見はそれほど変わらないでしょうネ。将来を見通したプランをたてよう、という機運が、現在私たち若手の方から出ているところですよ。

—全体として画一化せずに、各丁目毎のバラエティがほしいです——趣きのある商店街、これが元町のことからのあり方だと思います

★元町に名所・名物数々あれど

元町本通りは、目的もなくブラブラ歩くに適した幅と距離をもっている。アーケードからシャンデリアのぶらさがっているのが本通りだ。それに沿った東西の道と、

—昔は、元町と言えば中突堤への行き帰りに通るぐらいに思われていました、最近も通日も広くなつたせいもある、三〇%ほども通行量がアップしております。

—神戸高速の開通も影響していますネ。西元町駅にせよ花隈駅にせよ。昔からの元町に対する認識がかわってきました。

—センター街では現在、ウインドウショッピングはのんびりできませんし。

—店舗改造にしても、各店がよく

南北に本通りをきる路地。センタ
ー街に対する三宮本通。大丸前の
東西に走る通りが、それぞれに共
通点を持っているのに比較すれ
ば、元町は、本通りと路地とが有
機的に分業しあっている感じた。
—元町の名所ですか？場外馬券で
しようネ。

日本中央競馬会神戸場外発売所
元町三丁目の裏筋である。地下一
階、地上六階。土曜日の昼からと
もなると各階異様な雰囲気だ。ズ
ボンもはかずに、下駄ばきのシャ
ツ姿がどこからともなく集まり座
りこむ。これが本通りの裏筋であ
るから面白い。向いに質屋がある
のも一興だが、標札に pawn shop
とかかっているのも元町らしい。

次いで元町らしからぬ店は、サ
ト・ブラザーズ。隣りは元町らし



質屋と面白い対照をなす場外馬券売場



いサト・ビニール。前者はアメリ
カ製中古品一切。後者はビニール
製品一切。専門店だ。元町五丁目
南。見ているだけで楽しい店。

元町の名物は、これまた乞食。

—英語はっかり書く乞食がいてね
紙を渡すと立派な英語を書く。

件の乞食は場外馬券の近くで、
上半身裸でいた。眠っていた。

—白系ロシアのルンペンもいたな
—ギッチョで路上に絵をかく乞食
もいるね。

—あら、ギッチョの乞食なら心齋
橋でも見かけたわ。

—そう言えば、画廊も少ないな。

—新光ギャラリー、エーゲ、ウイ
ンナ。ちぐさやはなくなつたネ。

—洋服店のエフ・ワンは、壁に石
版やエッチングが飾ってあるけれ
ど、ああいう店がふえたらいい。

—彫刻を本通りに飾ったら、元町
のイメージアップができます。

★料亭の豊庫・元町とドリンク

元町の魅力は、思いがけない路
地の魅力である。ヒンターランド
の魅力だ。南京街はその典型。家
庭で中華料理がいつでも出来るほ
どの材料がある。スイカの種など

買っておくと役に立つ。一丁目す
ぐの路地を北に入るとコーヒーの
香。エビアン。通になるための店
だ。

—昔からの古い料理屋を歩くのも
結構だが、新しい店を毎日漁るの
も面白いですよ。三丁目の南筋が
多いですね。てんぶらの藤原、お
可川、料理では、あおば、青辰の
すし、それに魚が一番新しいのは、
松木でしょう。

—二丁目の大雄。ここはトンカツ
がうまい。それにつるてん。

—三ツ輪は古い店ですね。大衆向
けでは、日の出食堂。それに主人
が野球好きでロピンスと名前を付
けたと云われる店。カレーは甘い
ぐらいで、これが美味。

—夏のフグを食った五丁目のい
け洲もいいですよ。

何でも間に合うサト・ブラザーズ



●三宮本通り店がOPENしました



オーダーシャツとパジャマの店



イセヤ

三宮本通店 (33) 4937
三宮センター街店 (39) 4780

秋の赤坂新作きもの
「新香展」

とき・9月13・14・15日午前9時～午後6時
ところ・神戸国際会館5階ホール
*お気軽にお立ち寄りくださいませ



呉服の粹

赤

坂

神戸市生田区元町通六丁目
電話元町(34)五五一八番
八六五三番



幸せを築く すこやかな身体



兔唇、小耳症研究所

- 先天性奇形
 - 後天性変形＝外傷・火傷后
 - 手術后再建
 - 美容外科
- 整形外科

杉本形成外科

院長 杉本孝郎

神戸市生田区三宮町1丁目43(三神ビル2階)

TEL 神戸(32)0565

診療時間★午前10時～午後5時迄

本格派の人々に
愛される神戸の靴です



★靴のオーダーメイド

ヨシオカ

神戸 大丸前・33-5190-9763

東京・東急百貨店・渋谷(462)3436(直)
日本橋(211)0511(代)

―二丁目のどじょうの吾作。鮭の頭を骨まで煮しめて食べられるようにしたのがうまかった。わかさぎなどの季節料理もできる。

★外人バー街あれこれ

元町は外人の街・船員の街だ。観光シーズンになると、一時外人の方が多くなる。彼らは昼は買物をし、夜は外人バーに集う。

孟宗竹は、そんなエトランジェを故国につなぐパイプとなる。

―二丁目の裏には外人バーがたくさんありますが、日本人が行ってもそれほど高くないですよ。

―シーメンスクラブなど、お金の払い方は合理的ですよ。メニュー通りですから。

―キイ(Kee)は外人バーのホステスのよく行く店ですネ。洋食ではフック(Hook)がいいです。

―東京からのルポライターと外人バーに行って、帰るときオーパーを着せてくれるんです。そのルポライター、感激していました。こんなサービスをするところは東京にはないって。

―東京でも評判です。東京の一流クラブから流れてきた人たちだし、外人相手の教育をう

けていますからね。
―産をなしている女性もいるでしょう。

―南京街の入口にある克蘭シー(Clancy)もよく行くところです。
―東京の知人が、南京街で東南アジア系だと言って英語で遊んだら非常に面白かったらしいです。

外人バーは一般的には、まだまだ入りにくい。ただ、生田新道・北長狭通りのバー街と異なって、真昼間からレコードが、カーテンの奥から聞こえるのは、表通りの華やかさの別の表現でもあるのだろう。

★路狭くして車、山に登る

トア・ロードは不思議な路である。東西に横切る路地を越えるごとに、電車道を越え、ガードをくぐるごとに、風情が異なる。

海岸通からトア・ロードの始まる角に、海岸ビルがあり、その一階に明治屋の経営する中央亭があ

る。続いて明海ビル地階のドンナロイヤ。イタリアンレストランで午前十一時三十分開店。隣りの住友生命ビルの地階には、グリルとコーヒーの店・スリースリーがある。オフィス街での仕事の息いには、日に新たな店を探すのも一興このビルの向いが、カフェデュエントア(Cafe de Entee)。このあたりは駐車場が多いので、元町での買物の時の駐車場と決める方が賢明。

大丸前では、beauty & teaの店・シンド・アイポリーがある。可愛い子ちゃんのいるところ。車は、このあたりから多くなる。延々と山に登っている。

トア・ロードは好きな道です。生田新道ぐらいますんなり歩けるのですが、東京銀行まで行くとハアハア息切れがして。ただ、朝は素敵ですよ。中国人の家族が、犬を連れて散歩したり、再度山への山歩きをしたりで風情があります。

車は、トア・ロードを通さないようにしないと駄目です。

と、トア・ロードを愛する人は語る
雨のあがった緑の映える日、トア・ロードに立つと、神戸に住む喜びが



湧いてくる。山の近さは、対象的に海の近さとなってフラワールードを思い浮かべる。山から海へ、海から山への重要な幹線道路であり、一方は古い歴史をもち近代化の波にあらわれ、他方は歴史をつくる人が必要としている。これが街なのだ。

★河原町から柳筋へ

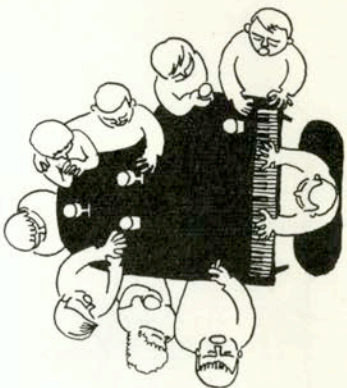
—ギリシヤ・ヴィレッジは行ったことある？

—階段に赤いペンキの塗ってあるレストランですね。神戸では珍しい感覚ですな。

—おやしさんがムードを出すのに一生懸命だね。まあ、外国の感覚でしょう。

—いか・たこ・えびがうまい所ですと、こんな具合に食通の話が進む神戸の人よりも、東京・大阪の芸能人の方がよく知っている蛸の壺、週刊誌で一躍有名になったゲイ・バーのタミーなど、一度のぞいておくと話の種になる。肉のうまい所では、柳筋の松阪。大衆向けには、三宮本通りを下におれた所にあるコヤナギ食堂。十年ぐらい前から定食一五〇円。

センター街のドンクの南店が開店。焼きたてのフランスパンが買える。二階は、ラ・プロヴァンス九月中旬には開店の運びで、プロヴァンス地方の風味がいただける



今夜も歌にいそむガスタイト

パンにうるさい神戸の人の選ぶ味は、口にする価値がある。

★国際色豊かな坂道の店

ガードを潜ると、トア・ロードは国際色が濃くなる。茶房・焼肉のきやんどるが東角。相対してロシア料理ワシリがある。ランチ一八〇円。量も質も結構。

この東西の通りをサンセット通りと呼ぶ。サンセットと共に人が出る。ぎょうざの珉珉、ガンコーナー、洋酒天国と、南のオフィス街から若いサラリーマンの移動が始まる。

コロンバンはドイツ菓子。神戸バザーは神戸土産にもってこいの買物ができる。カナディアン・アカデミーの学生に人気がある、という家庭的な店。ハンカチ一枚の買物でも結構楽しい。

—クロスの北のキャピンは安いも

のがよく揃えてあるね。

—東京から来た店で、そのせいか今までの神戸の店とは違っていてインテリアがなかなか良い。

—キャピンの三階が、トア・ロード画廊。広くなりましたね。

—デリカテッセンは、まだサンドイッチはしているの？

—ええ、していますよ。いいものはいつまでも続いていますね。

—デリカテッセンをすぎると、アメリカン・ファーマシイ。カード包装紙、壁紙から揃えているドラッグストア。

—東京銀行の手前が、グリル・ハイウェイ。道を隔てて中国雑貨工業品・四興公司。神戸でしか見られない、神戸でこそその街路である

—鯉川筋のあたりはどうですか。

—三徳すし、と白樺グリルぐらい

—市電を越えて、カキ十とカレー

の店デリー。

—デリーでは、インド人が手で食べるそうです。

—各店のコックが集ってきている東亜食堂は面白い店です。シナ風のおかゆがでたり、鳥の爪をそのまま浮かしたスープがでたり。

★神戸の六本木・中山手と北野町

中山手から北野町は、真珠とホテルの街である。その中に、最近ポツポツと品の良い店がで始めた。中山手・YMCAの西、ピッ



音と光の幻惑に酔いしれるメイド・イン・ニッポン

ツアハウス・ピノッキオ。落着いたロッヂ風つくりで、パーベキューもできるほどの丸テーブルがある。北野町にあった樹齢二百年の大木一本でつくったという、いわくつきの店。二階は、じゅうたん敷のスナック・バレンタインと個性ある店が並ぶ。市電を隔てて、ブリッチ。

―ガスライトは面白い店です。―中山手一丁目のいろりやを上る坂の左側の店でしょう。

―外国の軍国酒場と言った感じだ―ピアノの中山さんがエンタテイン―で、皆がピアノを弾んで歌いだすほど。

―ビバビバ北野がいろりやの北にありますね。

―美容室あきらもブルーアキラを

開店しています。

―山手を開いたパイオニヤは、やはりヤナガセでしょう。変なホテルが次々とできるので、非噴慷慨して店をつくった、とマスターも言っていました。

―昔の六本木が、ちょうど今の傾向と似ていますね。今後、山手・北野町は六本木のようになる可能性があります。

―フラメンコで知られているのがブルーリボン。美しい三人姉妹のいるのが、ガスライトの西・山の手。

―最近の若い人は自前で飲むようになったので、それだけ店を選ぶようです。

―でも、北野町をアベックで歩いていると、頑張れよ、って声をかけられる時がありますね。(笑)

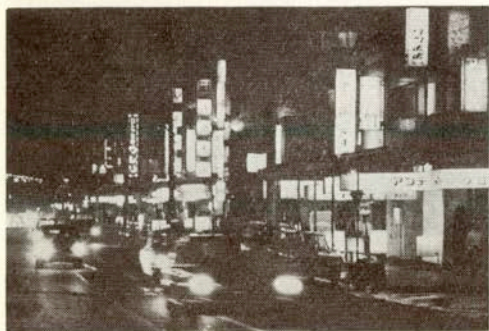
★神戸落穂拾い―若者の街

街のおしゃべりは尽きぬようだ。天使がその間、眠りこけてしまったにしても、若者は行動する。歌い踊る。フラワールードを遊歩する若者たちは、日暮れと共に、各自の行動に移る。

メイド・イン・ニッポン。ブラックイン。プレイゴウ。純。ピーパーポップ。ジャバ。

サイケデリックな音楽が、彼らにとつての子守唄なのだ。自分たちが、おおっぴらに遊べる場所に

日没後活気を見せるサン・セット通り。

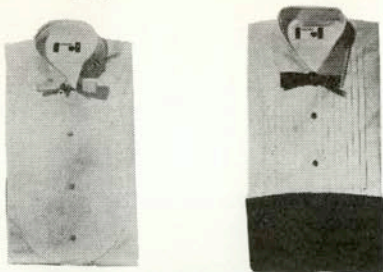


文・岡本邦彦
カット・岡田 淳
カメラ・米田定蔵

移動して行く。だからそれ自体、不健康なものではない。
―神戸はせまいので、どこに行っても同じ人とはかり合いますね。―でも、いい町です。買物は大阪京都でなく、神戸でという人が多いです。実際に商品は大阪から流れてきているのですが。
―東京だと二次会をしようかとなると、車で横浜ですが、まだまだ神戸はそこまで行きませんね。
―横浜の元町で見た光景ですが、紙切れをみると女店員がすぐにそれを拾うのです。街全体が客に対する教育を教えこまれているようです。

街のおしゃべりは、なお続く。

KOBE SHIRT



よろず物 襦袢衣縫上處
神戸シャツ

神戸店—神戸大丸前 33-2 1 6 8
東京店—東急日本橋店1階 211-0511 内線219
東急渋谷本店6階 462-3433

KOBEの
気楽な雰囲気
が
楽しめる
CLUB 《落》

*



CLUB

落

生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515



羽アリを見たら
危険信号



白アリ

一回全滅 十年間責任保証
兵庫県環境衛生事業協合理事
日本白アリ対策協会認定防除施工士
神戸商工会議所会員

アイワ消毒株式会社

神戸市生田区中山手通3-5-2
トアロード筋

TEL (39)8636 (33)0854



十周年を迎えた神戸青年会議所

— 関西新国際空港への
力強い提言なされる —

★オリエンタルホテルで 十周年記念式典開かる

国際港都・神戸の街づくりの大きな担い手である神戸青年会議所は、昭和三十三年七月に認証伝達式を挙行して十年、七月十三日にオリエンタルホテルで十周年記念式典を行なった。

金井知事、原口市長、浅田商工会議所会頭、神戸日本青年会議所会頭諸氏の祝辞、シアトルJ.C.からのメッセージ、シアトル市長からの記念品贈呈の

神戸青年会議所創立10周年



樽本久理事長より歴代理事長に記念品贈呈。写真左より、秋田、柏井、近沢、八馬、牛尾、石野、竹田、鳥越、南部各歴代理事長後、樽本久神戸青年会議所理事長より初代理事長・秋田広正から第九代・南部圭三氏までの歴代理事長に記念品が贈られた。
当日は全国各地から五百人ほどの青

年会議所のメンバーが集い、神戸青年会議所の歴史と将来への躍動に、祝福と期待の拍手をおくった。

★提言ならびに講演会

神戸青年会議所は、十周年を記念して、牛尾吉朗氏を委員長とする関西新国際空港特別委員会を設け、淡路に



講演する中曽根運輸大臣
講師右から、井橋三洋電機会長、原口市長、金井兵庫県知事

国際空港を「V」の調査研究の成果を、Airport of Vision」として集大成した。

樽本久理事長より「東海道メガロポリス・瀬戸内経済圏の接点としての淡路」の利点・優位性が強調され、「郷土の繁栄・西日本の発展のために、関西



力強く提言する樽本理事長

新国際空港の早期実現のために、我々は努力を結集する」との力強い提言があった。

この後、「関西新国際空港をとりまく環境とビジョン」と題して講演会がもたれ、中曽根康弘運輸大臣からの、「神戸J.C.は日本文化の推進力の一つであり、今後政治家をとまどわせる提言をしてはだきたい。関西に空港が必要なのは事実で、今後運輸省としても科学的データを基に政治的判断を下すつもりです」との講演があった。

★インターナショナルナイト

講演会に続いて、神戸十合でインターナショナルナイトが催された。外国領事をも招待しての華やかなパーティで相互の親睦を深め、神戸青年会議所の十周年を盛大に祝う集いであった。



中央中曽根運輸大臣を囲んでのなごやかなパーティ

匂いの宝石——香水を語る

浅木 幸雄
フランドゥ フラン

八木 功
一賢代表 浅木

赤根 和生
東京評論家

浅木トミコ
フランドゥ フラン



香水があります。まあ、最近の傾向として男性用の香水ですね。アメリカでは約三五パーセントがフォー・メンに作られています。

浅木 男性化粧品は最近、石鹸の匂いと関連づけるのが世界的な流れです。

赤根 ピーコック革命ですか。そういえば動物でもオスのほうがきれいですね。きれいというより立派ですね。浅木トミコ それで男性に負けないように女性もいい香りをつけて……。

赤根 香水の起源はいつ頃なんでしょう。

八木 もう、クレオパトラのころからですね。もっともあの時代は香油でしたが。日本でも平安時代からあったようですよ。今日のように香油にアルコールを加え始めたのは一七〇〇年頃からですね。例のケルンの水、これがオー・デ・コロンの始まりで、ナポレオンが戦争中に見つけたものです。今、フランスでは、香水屋の香水とフアッション界のものと二派があります。後者のほうが優勢ですね。ジャン・パトウの「JOY」などは素晴らしい傑作ですね。

赤根 香水のつけ方ですが、身体中につけてもいいのですか。

浅木トミコ ほのかに匂うのがいいのです。

八木 特に、外人のように体臭のきつい人は、香水の匂いプラス自分の匂いを好ましいようにすればよい。

浅木トミコ その点、日人は純粋に香水の匂いが大好きですね。

赤根 植物的な匂いでしょね。日本人のは。ところで香水の使いわけですが、夜間用とか。

八木 絶対にその使いわけは必要ですね。例えば、昼間から濃厚なものをつけたら、夜のパーティなどにサラッとしたものもおかしい。大ざっぱに言って、香水は夜、パルファム・トワレ、オー・デ・トワレは昼、オー・デ・コロンは男はいつでも使ってもいい。でも、昼間からプンプン香水を匂わすのはやはりおかしいですね。その他

赤根 今日では香水のお話をお伺いしたいのですが、大抵何種類くらいの香水があるのでしょうか。

八木 そうですね。フランスでは有名な香水といえば、八〇〜九〇種はあるでしょう。その他にも多数の小さな

にも、年令とか自分の生活環境に応じてね。学校出たての人が、動物性のセクシーな匂いのプンプンする香水をつけていたら、ちょっとどうかとも……。

浅木トミコ でも、近頃は若い方も香水に興味をもつようになられて結構なことですよ。

浅木 若い人は、何かさわやかな匂いのものをつけられるといいですね。香水の名は、中身を表わしているものが多いので使う人もわかりやすいでしょう。例えば、タブーにしてもアモーレ・アモーレにしても。

八木 香水というのは最初は何々伯爵の夫人が直接、聴香師のところに注文して作らせていた。ところがいい匂いには皆が集まってくる。そして商業ベースにのってくと、お前もか、シャネル・ナンパースのようになると、しかし、それはシャネルが良いという証拠なんです。浅木トミコ その香水も、まだまだ日本ではよく理解されてないようですね。

赤根 匂いというのは形として後に残らない。だから、寶石などと比べると、もっと次元の高いお洒落ですね。

八木 私などは、寶石をつけた女性よりも香水をつけた女性のほうに魅かれますね。

浅木トミコ 女性のお洒落は、それを見る男性あつてのものだと思います。私は香水は宝石ほど高いものではないと思います。やはり、男性から好まれる女性であるべきだと思います。むやみに高価なものを身につけるのではなく。

八木 近頃の若い人は、いいと思ったら素直に抵抗なく受け入れますね。年をとると頑固になって、オー・デ・コロンを使いなさいよ。紳士の身だしなみで、同じお酒を飲みに行ってもお酒の出方が違いますよ、と一言もなかなかお使いにならない。若い人に、プレゼントにするなら、キャンディ、花束、香水を持っていきなさい、という素直に受ける。花などは一日でしぼんでしまうものだし、香水はその意味で一貫貫えば一カ月近くは楽しめますしね。私共も今年あたり、香水をつけていない女

性とは付き合うのをやめましょう、というキャンペーンでもやろうかと……(笑)。

赤根 匂いは後まで残りますからね。いつまでも、その女性と香水の匂いが結びついて思い出になりますからね私も、いまだに……。きんもくせい、の匂う頃になると、その人のことを思い出したりしてね。(笑)

浅木トミコ 確かに、匂いや音にはそういうものがありますね。思い出につながるようなものが。

八木 逆に、男性が香水をつける場合、何も高級なものを身につけなくてもいいのです。匂いに親しめばいいのです。匂いは何も相手を満足させるためのものではなくあくまで自分が満足すればいい。そういうのをつけていると何か気持ちの上で安定するのではないかと思います自分の心の奥底で。

赤根 本体をばかして、何か情緒があるかもしれませぬね。男性でも女性でも、仕立て下しの服を着た場合、何か楽しい、仕事もはかどる、香水にもそういう雰囲気がありますね。変な虚栄心でなく、心がリラックスして、人生が楽しくなってくる。

浅木 日本人の肌は非常に美しいのに、ファウンデーション使用は僅か全化粧品のご二・八パーセントですよ。

八木 日本で、なぜこんなに匂いが遅れたのかというと日本のメーカーが匂いに対して自信がない、聴香師もいない。作れないからP・Rもできない。化粧品会社の美容員も香水までは勧めない。美容院でも最後につけるのは何ともいえないきつい匂いのスプレー。

浅木トミコ あれば、何とか無臭にできないのかしら。

赤根 美容師の感覚云々というより、日本人の匂いに対する感覚ですね。日本でも昔から香を、匂、習慣があったのですから、日本人の嗅覚もまんざらではないと思うのですが、やはり、香水というものに対する認識不足です八木 これからは、もっと老若男女、どんどん利用して頂きたいですね。Aジャン・パトウ日本総代理店・

ブラン・ドゥ・ブラン商事部にてV

神戸遊戯誌 60

★教育キャンプの隆盛を計れ

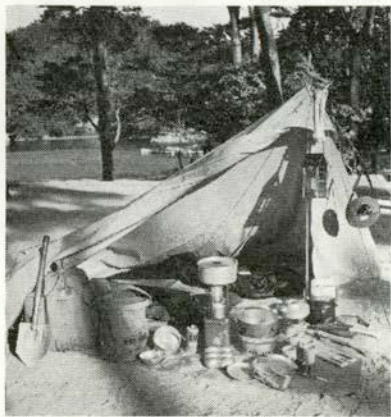
今日兵庫県下で野外キャンプ活動で最も盛んなのは、戦後出発した兵庫県野外青少年活動促進大会である。これは初代会長の下中弥三郎氏が創始したのだが、勤労青少年を主体にしたもので、現在では約六百名の参加者が参集している。今年も、七月二十六日から三日間、和野野外活動センター（美方郡村岡町兎和野高原）で行なわれることになっているが、しだいに大自然との交流



写真左・下は、いずれも神鍋高原で行なわれた第10回ユース・ラリー。昭和42年8月12日の教育キャンプでの楽しい風景である。



▼写真下は、キャンプ用品一式。
5人用ビニロン製家型テント。
¥9,500.-より。



▶神戸YMCAの小豆島・余島キャンプ場。水決、ボート、昆虫採集と楽しいプログラムが用意されている教育の場である。



を忘れがちな生活においやられている勤労青少年たちにとっては、まことに有意義な恒年プログラムといつてよいだろう。

それ以後県野外活動協議会（会長＝県教育委員長・小林芳夫氏）が生まれて、各地の加盟協会の母胎となっているが、なかでも淡路と但馬の両協議会が有名である。昭和三十三年頃から同協議会では県の支援のもとに県下各地に推奨キャンプ場を作ってもらい、それらを積極的に活用しているが、それまでとかく候補地が商業用に利

キャンピング (2) 青木重雄

用される傾向があったのを、このおかげで教育用と商業用とのハッキリした区切りがついたことは大きな意義がある。商業資本をこのうえともはいらさぬようにするため、ことしから県青少年局、体育局、ユース・ホステル協会の三者共催で「よいキャンプ場を見つける」仕事を調査活動を開始したことは喜ばしい。キャンプ場好適地としては、まず水のないところと環境のよいところが最大条件であるが、本年度の推奨キャンプ場（県、県教育委員会、ユース・ホステル協会推奨）は、六甲山ユースセンター（神戸市六甲山系奥摩耶）はじめ大野山（川辺郡猪名川町）、永沢寺（三田市永沢寺）、笹の丸（宍粟郡山崎町笹の丸）など三十余である。

他府県からも兵庫県へやって来てキャンプングをやっているところがあるが、たとえば大阪YMCAはすでに戦前の昭和十三年から松帆の浦（淡路島）と広野でキャンプを張っている。神戸YMCAは、二十三年から全国に先がけて、いち早く小豆島附近の余島を全部解放して固定キャンプングを開始した。同じ例に東京では野尻湖の固定キャンプングがあり、余島と共に東西の双壁といえよう。ただし、現在では観光ブームで同島も有名になり、観光客が続々と訪れるようになって来た。なお、同島には神懸焼というやきものがあるが、色釉の美しい花器が多い。次には二十八年からスタートした県下の肢体不自由児ばかりを集めてのキャンプングがある。「オレだって共同生活ができる」とばかり気の毒なこともたちがどしどし参加したわけだが、彼らの指導者としての最初の卒業証書がことしから県から手渡されることになっている。ところが十年間不自由児のキャンプングをつけているうちに、彼らを收容して共同生活のできるのちぎく（野路菊）園が作られた。そこで三十八年ごろからは同園の専門家の手に返された。

キャンプングの教育面ということは、エコー・スポーツということにもなるわけだが、そうなるると各種のスポーツ的な行事を行なわねばならない。特にボーイス

カウトの場合はそうしたプログラムがぎっしりとつまっている。文部省でも教育と体力づくりの面から早くからキャンプングを奨励しているが、神戸YMCAの今井鎮雄氏や横田栄三郎氏（頌栄短大校長）がその道のすぐれた先達の指導者だった。この種の指導者として一人前になるには十年もかかるが、アメリカには専門のキャンパーが数多くいる。YMCAが協力して開いている講習会にも最近では高中小学校の先生がふえたのがめだっている女子ではガール・スカウトやYWCAにも女性リーダーがいるが、日本ではハイ・ミスが活躍している。家庭の人となるとダメになるわけだ。このところ年々商業キャンプが盛んになり、いたるところで勝手なキャンプを張り、ドンチャンさわぎをやり、ゴミを残す不心得者が多いため県と警察とユース・ホステル協会が協力してキャンプに適した自然環境を守る措置を講ずると共に、他方国民休暇村を増設して、健全化の指導育成に乗り出している。

さて、県のキャンパー人口は、青少年団体（23団体）の五十万人が筆頭だが、将来百五十万人の仲間づくりをネラっている。次におとなたちは勝手にいろいろな方法でやっており、高校では今日特に教育面に力を入れたキャンプングの指導を行なっているのでそうした人々を合わせると、おびただしい数のキャンパーとなる。OAA（青少年野外活動協議会）でもキャンプをやっている。一方リーダーは県下に約一人はいると思われるが、活動しているのは二割ぐらいである。今後正しい意味でのキャンプングをひろめるためには、リーダーの活躍が大いに期待されるわけだが、これと共に各電鉄会社もつと候補地の宣伝をしてくれること。また、激増する各地のゴルフ場をキャンプ場に提供してくれることが望まれます。ウインター・キャンプもしだいに盛んになりつつある現在、失われる大自然の呼吸を人間に取り戻すため教育キャンプングの発展を切に期待しておきたい。

内藤彩子さん

竹田洋太郎

わたしたちが「アヤさん」と呼んでいる内藤彩子さんのお店は、大げさというと、わたしたちが住んでいる普通の「空間」とはちょっとちがった、別の空間を構成しているように思える。

十人も並ぶことができないような小さなスタンド。ヨットの中のキャビンのような壁にかこまれた「密室」といった感じの空間で、わたしとアヤさん、あるいは他のお客さん（どうもお客らしくない人たちがばかりだが）が話しているその内容は、わたしがはじめてこのお店に入った時から少しも発展しないような気がする。ひと昔前のわたしと、いまのわたしとの間の時間の経過が全くなかったかのようである。いわば小規模な「タイム・トンネル」だろう。

その密室の女主人、というより女王（トランプの）のようなアヤさんは、宇宙の時間をストップさせるような一種の魔法を心得ている。たしかに「魔女」である。どうもテレビの見すぎだな。

さらに不思議なことには、このお店に集ってくるお客というものが、やはり小魔女であり小魔男であるらしい。その中で最も魔性の少ないのはわたしだと思っている。その魔女、魔男に君臨しているのがアヤさんなので、どうも一般の女主人と客といった関係ではない。カウンターの内側には、大体椅子などないものだが、ここには玉座がある。だがアヤさんは「君臨すれども統治せず」と魔女、魔男のかわず「魔語」を静かに聴聞しているだけである。

テレビでご存知のように、魔女には系譜が重要である

京城といったころのソウルで生まれ、引揚げてからはずっと神戸の住人だから、もう神戸っ子といってもよろしかろう。いまのお店をいつ開いたかは、わたしも聞いたことがない。時間がストップしているのだから、いつでもいい。画家の松岡寛一さん、石坂春生さんもよくここで見うけたが、この方がたも、いつからここに来ていのかわからないだろう。

そして、アヤさんの父上、ご兄弟、妹さん、そのご主人、そのまた坊や。ここに集まる人は大体知っている。だが、このファミリーの魔性はあまり強くない。妹さんの魔性は結婚後とみに薄れた。しかし、これも奇妙な話で、一つのお店の女主人の血縁と、お客とがときには同列に扱われたり、またお互いが知り合っていたりするのには、あまり例がないだろう。それも女王という地位のしからしむるところか。ただし、この女王、ダイヤヤハートのような赤の方ではないように思う。

さて、私事にわたるが、わたしの結婚までは女性とデートをするのがこのお店であった。そして結婚前に女房とデートしたのもここ。だからアヤさん、わたしについては、すべてお見通しで、結婚式の夜はわれわれ二人とアヤさんと、そのお友達とで布引のアカデミーに集まり大いに飲んだのは、別に口止めというのでなく、魔界の儀式のようなものであった。

かってわたしもそうであったが、常連が軽いノイローゼになったりすると、ここへやってくる。するとアヤさんが手を下すまでもなく、呪文をとなえるまでもなく、ノイローゼがなおった気がして帰っていく。その患者の

年齢層は七十代から二十代と極めて広い。またその七十代と二十代がお互いに友達つき合いをしたりしている。

こう書いてみても、いままでとちがって、どうもアヤさんの人物像を描きにくい。なんだか周囲を堂々めぐりしていると読者もお感じになるだろう。これを書くためにはよほど筆力を要するのかと考えていたら、思い当たるふしがあった。彼女の魔力の呪縛にあって、ペンが動いてくれないのである。

それなら、読者であるあなたが、実際にそのお店を探し出して、彼女に会えばわかるわけだ。しかし、どこにあるかが、まずわからない。わたしもいわない。だいいち、ここには普通の空間と、特殊なこの空間とをつなぐ

電話さえないのだから。そして、たまたまあなたが探し当ててはいったとすると、あなた自身にくらかの魔性があるか、魔性を持った先住者との適応性があるかでなければ、どうもぐあいが悪いと感じるだろう。決して排他的ではない。ただ、タイム・トンネルに飛び込む覚悟が必要だろう。

例によって、アヤさんの写真をとって、ここにのせようとしたら、フィルムには酒ビンだけが写って、彼女の影もかたちも写っていない。そこで魔男の一人だと思われる松岡寛一さんに、アヤさんの肖像を描いてもらうことにした。不思議な話ではないか。

△左は内藤彩子さん、カット・松岡寛一氏▽



学生と画家

きく人・向井修二（画家）

植松奎二

神戸大学教育学部美術科4年

岡田 淳

神戸大学教育学部美術科4年

丸山 至

神戸大学工学部建築学科3年

★左より向井・丸山・岡田・植松（中山手通ビノッキオにて）



今回は神大生の中でも学生生活を楽しんでいるらしい岡田・丸山・植松君の三人の若者にご登場ねがった。岡田君はこの雑誌でマンガを画いているのでぞんじの人も多いことと思うけれど「カサ」をテーマにした作品をシリーズで発表している。テクニクもアイデアもまだただだけれども考え方は話してみるとしっかりとしているたのもしい。丸山君は建築学科三年生でいつも変なこと？を考えている青年だ。一見、女性的だけれども自分をできるだけ楽しい場所に置きたいと苦心しているようだ。植松君はゴーゴーもうまいし、女性にもてる？そんなことを言っても彼はうれしがらないような男だけれど、やはり女性には弱くプライマリーの彫刻をガンとして作っている。いづれ学校の先生になるらしく現在なやんでいる様子だ。三人とも神戸の町にふさわしいカラッとした気持のいい若人で私はやはり少しゼネレーションのちがいを感じたインタビューだった。

★君達将来なにになりたい？

岡田 僕は漫画が好きだから、漫画家になるかもわからないけれど、小さい頃は科学者になろうというアカデミックな憧れがありました。

丸山 僕は建築学科にいるから、へたをするところかの会社に入って平凡におわってしまうけれど、それではおもしろくないので、何でもいからバカなことをやってみたいです。

植松 僕も何か新しいものをやってみたいと思います。

岡田 新しいものというけれど、このごろの新しさというとは何か新しさのための新しさにすぎないように思えるんです。今までにないことをやればいいというわけでもないんでしょう。

★しかし、そこがスタートで、価値の対象がはじま

るといえるね。

岡田 他人の作品をみて、これは僕が考えていたのと同じもんや、と残念に思う時があるのですが。

★作品をみて矯正されるのじゃないかな。アイデアが同じであるために、表現はちがっていても表現まで同じように見えてくる。同じ顔がないように同じ表現もありえない。ただ、その表現がどれだけ煮つまっているかが問題になる……。

君らの理想の女性像をききたいね。動物的な欲求からいうのではなしに。

植松 ……わからへんけどあのコやな(笑)。

三人 ……

★そしたら、愛するのと愛されるのではどちらがいいかな？

植松 やっぱり両方の方がいいですね。

岡田 僕は圧倒的に愛される方です。愛することに願望を感じるけれど、メタフィジカルな感じがしないでもない。現実には愛される方が責任がいらぬ(笑)。

丸山 両方やね。愛し愛されるというところはいい。愛しつづける方がおもしろいことはおもしろいけれど。

★学生運動についてどう思う？

丸山 僕は三人とも学生運動には関係のないことばかりやっている。

岡田 いわゆる学生運動というデモやバリケードをつくらたりということはないですね。

★石原慎太郎をどう思う？

植松 腹が立つね。かつての太陽族の志士だったのに、もうだめだね。

岡田 参議院選挙で当選したあと、子供をいっぱいつれて、深々と椅子に座り、日本のケネディだとシャレとったのに腹が立つ。

丸山 高校の頃は「太陽の季節」なんか読んでおもしろいなあと思っただけで、最近では全然読もうとも思わない。

★三島由起夫はどう？

岡田 おもしろいですね。

★大江はどう？

三人 いいですねえ。

★大江は学生にうけてるね。僕は好きじゃないけど。まだ三島の方がかわいいところがあってもおもしろい。

それじゃ、文学以外の作家ではどんなのが好き？

植松 絵ではクレイ、彫刻ではブラン・フーシエ。映画はアングラが好きです。日本で最初のアングラ映画というのをみましたけど、感激しました。

岡田 絵ではベーンシャーンの線が好きですね。映画はアントニオニー……そんなところですよ。

丸山 僕は向井修二(笑) 彫刻は興味がないから好きな作家はいないです。

★植松君はやっぱり学校の先生になる？

植松 わかりませんね。向井さんの助手にでも使ってもらいたい(笑)。

★教師であり、画家でもあるというのはどう思う？

植松 僕は教師である前に画家なり彫刻家でありたい。いいかげんな気持ちで教師をつとめるというのではありませんが。五週間という短い期間だったけれども、教生にいて僕にはやっていけるという自信ができました。

岡田 教師というのは休みの多いのが魅力ですね。★それはそうだけれど学校の先生というのはみんないい作品をつくっていないよ。

植松 やっぱり生活を安定させてからやろうというのが悪いのでしょうか。生活をかけるか、かけないかで作品もちがってくるんでしょうね。

★どうしても結局は安全な道をとるようになってくるからなあ。

岡田 僕もそれがこわいですね。

丸山 でもそういうジレンマに陥った時、彫刻家になるか先生になるかということになれば先生になった方が安全ですからね。オヤジさんもオッカさんも泣いて喜ぶし(笑)。

★今の君達それぞれの立場でいちばんやってみたいことを話して下さい。

植松君は画家になってフットライトを浴びたい？

植松 フットライトを浴びる浴びないよりも、作品をたくさんつくってみたいなあ。

丸山 画家とか音楽家のような芸術家タイプというのはサラリーマンとちがって魅力がありますね。

岡田 僕は旅をしたい。勿論日本を含めてですが、世界中を旅行してまわってみたい。

植松 砂漠や太平洋の真ん中とか高い山のテッペンから星をみたい。

★君がそんなキザなことをいってもピタッとかないよ。顔のなせるわざやね(笑)。

丸山 地球の皮をはいでみたい。地球のおへソでも見えるかもしれない。

★君らは童貞かな？
三人 そうです。

★ほんまかいなあ？……(笑)

岡田君はもてる方か？

岡田 そんなにはもてないです。家にこもっていてあまり出ていかないから。

植松 セックスに関する観念は昔とだいぶちがってきますね。実際僕らにはわからへんけどな(笑)。

岡田 僕らみたいな経験のないものは、セックスということに非常な憧れをもっています。

丸山 ピンクっていいですね。

植松 僕はピンクといっても全然いやらしい感じがしません。女の人はうす紫に弱いらしいけど。

★みんなピンクをエッチに考えすぎるのやろね。

植松 僕が教生で教えている時にピンクということばが口から出ると、生徒がみんなエッチや、といってましたよ。ピンク イコール・エッチという考えを変えていかないとだめですね。

★そういう君らでもピンクのもつ社会的観念？を考えざるをえないだろう。ちか頃の若いもんが社会的意識をもたないはずがない。そういうことは淋しいことだけど。

岡田 意識していないということを意識した行為をするような人ですね。

★アホなヤツといわれるとそれまでだけど、学生にしても昔でいうパンカラというのがいなくなつたね。みんな自分の足もとに不安を感じているようだね。

岡田 それは感じますよ。それだけにできるだけに自分

の内部にこもりたいという欲望がおこります。具体的にいえば我々学生の、社会の日常性とはちがった甘い日常性からも切り離されたいという欲望がある一方で、たち切られることの不安を感じます。

★みんなそれぞれ自己批判をやってくれ。

植松 学業の方が気になります。授業を受ける受けないの権利はどちらにあるのだからということで授業をほったらかして、やりたいことがあればそちらばかりやっている。それは悪いことなのかなあ。大学の四年生にもなる自分のリンカもわかってきました。

岡田 僕だけじゃないと思うけど、学生ということ意識することは今までになかったし、これからもないと思うけれど、それだけに学生としての連帯感ができませんでした。そういった個人主義は自分では悪いことだとは思っていません。

★連帯感はなくなくなったようではなくったのではないよ。卒業すればわかるけれど、神大出なら神大出としての仲間意識というものが生まれてくる。今の君らはただ、社会とのつながりが強すぎるために自分さえよけりゃという甘い考えになるのじゃないかな。

丸山 学生は何事につけてももっと不まじめであるべきだと思えます。何となく安全な方へ傾くけれど、何かをやったあとの満足感というのも小さくなると思えます。

ギャラリーごあんない

トア・ロード 画廊(トア・ロード・ミワボシ)

ビル3F・デリカテッセン向いV

9月10～19日

「水彩・素描による裸婦展」

9月21～30日

「進藤著個展」

10月5～14日

「第1回ロード会展」

- ① なごやかなムードで一品料理を
(一品料理は盛りだくさんに準備しています)
- ② 味の多様化時代に最適の
北欧風バイキング料理を
- ③ 屋上ピヤガーデンへもぜひどうぞ!

9階

9階



スカイサントリーで開かれるパーティにエキゾチックな神戸のエトランゼのお嬢さんがせいぞろい。楽しいムードでいっぱいです。

飲みほうだい (サントリー純生ビール クラウン・コーラ) + 食べほうだい! <北欧風ヴァイキング料理> 1,200円<飲食税120円別>



なごやかな
ムード
すばらしい
眺望!

一品料理もあります 三宮交通センタービル9階 TEL ㉟3705~6

スカイサントリー

night cap
むらかみ

神戸市生田区加納町4丁目1
TEL 39-2616

DRINKING

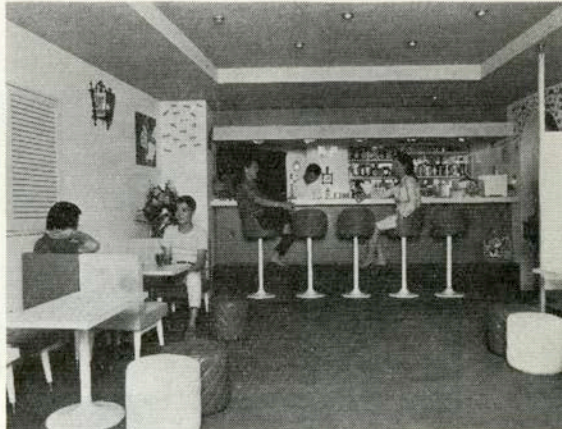
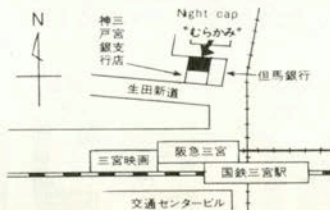
Tea & Snack バレンタイン

Valentine

KOBE・中山手2丁目電停済
YMCA西 ビノキオ2階



★阪急三宮駅東口、但馬銀行の裏側にある Night cap “むらかみ” は大人のムードを持った落ち着いたスタンドである。お客さんに“森光子のお茶づけの味”だといわれるこのママさん、日本舞踊、琴、お茶、お花と純日本趣味で、おまけにこの世界に入るまで10年間、文化教室でフランス人形の講師をしていた。加えて料理が好きで、このつき出し（¥200から）は、すべてママさんの手料理。客席も銀行、商社の部課長クラスの人が多いが若い人も増えている。おちゃめなケイ子ちゃんと個性的なマサ子ちゃん。マスターの伊集院さんは、ママさんのお目付役でもあり、良きアドバイザーでもある。この“むらかみ”の名は独身の美人ママの名前からとっている。オールド ¥330 ビール(小) ¥230



★中山手の坂は、恋人たちの故郷だ。YMCAの西、ビノッキオの二階に蝶が壁に舞うオアシスができた。神戸に数少ない“じゅうたん Bar バレンタイン”。ママの悠子さんが室内照明からインテリアまで考えたという。靴をぬいでストールに座ると、赤い照明が快くよい。一年輩の方でも気楽にくつろげ、若さを吸収してもらうのがママの希望。ギターにマイク、ボンゴと揃えば、誰だっさわりたくなる。将来はエレクトーンも入る予定。お好みのウイスキーを言えば会員にもなるが、500円、1000円のチケットを利用するのも便利。女性は一割引というからデートコースに最適。ビール（230円）を飲んで、帰ってからはお茶漬（200円）と、心安まる店である。

